

事業名	若者の就業支援(ドッグトリマー養成)	
事業区分	主となる区分	<input type="checkbox"/> 産業・雇用
	関連する区分	
総合5か年計画区分(□)	主となる区分	106職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり
	関連する区分	
事業タイプ	○ソフト / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)	
重点テーマ	若者を対象とした就業支援事業	
実施箇所	各所ドッグサロン(長野県内全域)	
実施期間	事業開始予定年月日	平成25年 9月1日
	事業終了予定年月日	平成26年 3月31日
事業概要	<p><b>①事業目的</b> (事業を行う背景・課題・必要性を記載すること。また、この事業が重点テーマに該当する旨を明確に記載すること。)</p> <p>ドッグトリマーの仕事は年々増え、技術の進歩も著しい。しかし講座や受給制度がまだ整備されておらず、高校生を中心にトリマーへ従事することが不十分である。そこで日本ウェルネス高等学校を中心に業界有志で協会を設立し、長野県全域の若者および希望者に向けたドッグトリマー就業の支援を行う。</p> <p>そのためには、業界に属する者に限らず、犬の愛好家などの協力を得て学生たちの将来の就業支援に向けて活動をしていく。</p> <p>また、孤立しがちな高齢者が、ペット(犬)を飼う事で、心の病や認知症の予防になることが証明されており、毎日の散歩は高齢者の健康づくり(=医療費軽減)に繋がる。協会では、高齢者が再び社会との関わりを取り戻すことで居場所の確保やひきこもり防止、また安否確認の目的で、犬という接点を持つ高齢者同士の交流の場を定期的に提供し、孤独感軽減のサポートをする。</p> <p>さらに高齢者のみではなく、子育てでも社会性や協調性、思いやりの心を育むこと、命の大切さを学ぶためにペット(犬)の大切さが言われている。不登校やひきこもりなど問題を抱える子供達やその家族に、犬との触れ合いの場を定期的に提供する。それによる子供達の変化を記録し今後の教育や活動に役立てると同時に、家族の絆を深め生活の質向上を目指すきっかけづくりをしていく。</p> <p>その他、犬の専門家を招いてのしつけ教室、飼い主に対しての犬を飼う上でのマナー教室、フォーラムの開催など、地域住民が参加できるイベントを開催し、犬を通じて「人と人とのつながり」を訴え、地域住民同士が交流できる場を作る。</p> <p>協会としては、トリマーの養成とともに、犬を通じての地域の間人同士の交流の場を提供し、家族の絆づくりや高齢者の心身の充実を図っていく。</p> <p>また、住民が参加し体験発表などを紹介することで、住民が主体となって事業に参画できるような環境を整えていく。</p>	

**②事業内容（モデル的で発展性のある事業である理由についても記載）**

（実施の時期、場所、規模、方法等について具体的に記載すること。また、重点テーマに該当する場合は、その内容も具体的に記載すること。）

**(1) 事業内容**

**1. 実技体験：ドッグトリマー養成講座**

キャリア教育の実践として、日本ウェルネス高等学校からの要請により、ドッグサロンによる実技体験を行う。

会 場：県内ドッグサロン

講 師：ドッグサロン経営者またはトリマー

参加予定者：約20名の実習生の受け入れ

協力：犬の愛好家（ペット主）

今回の内容を多く的一般の方々に知っていただき、練習として犬を提供頂こうと考える。

**2. フォーラムの開催**

**【トリマーのお仕事紹介】**

- ・トリマーの認知度をあげるために、トリマー技術のコンテストを行う

**【若者の就業支援】**

- ・実習生の就職先を発掘するための、合同面接会

**【ペット（犬）から学ぶ講座】**

- ・高齢者の認知症予防講座／心や体の病予防講座  
（毎日の散歩が高齢者の健康作りに大変効果がある）
- ・家族の絆づくりの事例紹介
- ・体験発表（住民参加の）紹介  
（なお、ホームページ等上記内容は随時更新していく）

会 場：県内の集会会場

講 師：ドッグサロン経営者 及び 業界関係者

参加者：業界関係者、学生、一般市民

参加予定者：合計80名ほど

ドッグトリマーを通じて若者の就業支援

ペット（犬）の効果性と、家族の絆の確認や、高齢化社会への発信  
住民参加の促進と体験発表による住民参画のフォーラムへ発展

○ モデル的で発展性のある事業である理由

高校生にとって就職活動は大変重要なものである。しかし厳しい経済環境下の中、なかなか就職出来ないのが現状である。ドッグトリマー業界は成長産業であり、就業機会も今後益々増えていく。

また高齢者社会や子育てにおいて、ペット（犬）の効果は非常に高い注目を浴びている。

ペット（犬）を通して人間同士のコミュニケーションが深まることで地域の絆も深まり、住民が主体的に参加及び体験発表することで、より良い街づくりに繋がり、住民参画の事業へと発展できる。

**③事業効果（可能な限り数値化すること）**

（①の事業目的に対応した課題がどのように解消されるか記載すること。）

参加予定者数の増加：目標年度H25 対 H24比10%増

受講者の満足度調査：目標年度H25 対 H24比10%増

④広報表示（表示場所、内容等について記載）

（表示場所、内容等について具体的に表示方法を記載すること。）

- 募集チラシに「長野県地域元気づくり支援金活用事業」を表示
- ホームページに「長野県地域元気づくり支援金活用事業」を表示

総合5か年計画区分欄の記載は、任意とします。